



4月1日「枚方市民アクション」発足集会。「安倍9条改憲NO」の署名を携え訪問行動の報告。百人を超える参加者に大きな希望を与えました。<裏面に報告>

# 平和がいちばん

2018年4月15日 第 130 号  
平和で豊かな枚方を  
市民みんなでつくる会

## 安倍政権に 憲法さわる 資格はない

森友学園への国有地の貸付・売却の公文書が改ざんされていました。改ざんされた内容で国会での論戦が交わされ続けて1年。虚偽の「説明」で国会と国民は騙され続けてきたのです。

3月末、自民党大会で安倍首相は憲法改正への意欲をなお語りました。しかし条文案も示せず、大会前に党執行部が強引にまとめた改憲4項目にもまだ党内で異論が続出しています。しかし安倍首相が党内を強引に押さえ込み、共謀罪法や戦争法と同じように国会審議を短時間で切り上げ「強行採決」で改正発議を行う危険性は十分に予想されます。

現在の衆院の議員勢力と安倍内閣は、昨秋の総選挙の結果です。それは財務省の文書改ざんと「森友疑惑」に蓋がされたまま、国民が選択させられた結果でした。改ざん発覚後の内閣支持率の急低下を見れば、これらが明らかにされての選択であれば当然

違った結果になっていたとは予想に難くありません。現在の衆院議席数と内閣は虚偽の上に成り立つ“正統性”のないものです。この国会が発議する憲法改正など認められません。安倍首相が最高責任者の政府では財務省だけでなく、文書の隠蔽・データねつ造は政府内に蔓延しています。防衛省は南スーダン・イラク派遣時の「日報」も隠ぺい、厚労省は裁量労働実態のデータねつ造など、国会と国民に正確な情報が与えられていません。安倍政府はまだまだ情報やデータを隠蔽しているのでは、国民に事実を知らせていないのではとの疑念が深まります。このような内閣の下で、国の基本法であり「権力を縛る」ための憲法の改正論議などできません。国民をだます安倍政権が汚れきった手で憲法を触ること自体を認められません。改正発議をさせない世論を「3000万署名」の広がり部厚くしましょう。

### 意見箱

ご存知ですか？ 学校運営協議会 松田幹雄

枚方市の各小学校に、校区コミュニティ協議会、PTA、校長等が推薦する人五人以内の委員でつくる「学校運営協議会」を置いて、「コミュニティ・スクール」にする動きが進んでいます。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」にある規定を根拠にしているということですが、公共の精神や愛国心を教育目標に位置付け、教育振興基本計画策定を義務付けて政治家・行政の教育介入に道を開いた、二〇〇六年第一次安倍政権時の教育基本法改悪を受けて、その具体化の中で出てきているのを見ておかななくてはならないと思います。

二〇一二年、教育行政基本条例・学校活性化条例制定で、改悪教育基本法具体化の先頭を切る大阪市立学校の実態を報告します。大阪市の教育行政基本条例では、前文で「自由と規範意識、権利と義務を重んじ、公共の精神を尊び、グローバル化が進む国際社会において力強く生き抜くことができる人間として育むこと、国と、大阪を愛し、自己責任・愛国心を教育目標」として規定しています。そして

て、その条例の趣旨に沿う大阪維新主導の大阪府教育振興基本計画で、「学校のきまり・規則を守っている」と答える子どもとの割合やチャレンジテストの点数などについて全市の数値目標を示し、各学校がやることといえ、教育振興基本計画で目標が示されたそれぞれの項目について、どこまで達成するのか、できるのかを論議・具体化することだけです。学校活性化条例で学校協議会の設置が義務付けられていますが、その委員は「保護者等または教育委員会が必要と認めるもの」のうちから、教育委員会が校長及び当該学校の所在する区の区長の意見を聴いて任命されています。区長の中には、橋下・吉村維新が勝手に選んだ「公募」区長も多いのが実態です。教育目標、教育のあり方を根本的に問うことなく、吉村市政が設定した数値目標による競争教育をちゃんと実行しているかどうか、外部から監視し、点検する組織が学校協議会です。

枚方市の「学校運営協議会」が大阪市のよう組織にならないよう監視しなければならぬと考えます。

ホッと  
タイム

## 枚方市民アクション発足集会の成功 松田久子



4月1日、「安倍9条改憲NO・3000万人署名」枚方市民アクション発足集会に参加しました。会場は、ほぼ満席近い多くの方が参加していました。この集会は、今の国政の改憲の動きを止めるために反対署名（「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」）の運動を更に加速させ、何としても目標を達成しようと呼びかける集会でした。冒頭の永嶋弁護士によるお話では、先の戦争で、日本だけでなく特にアジアの人々の多大な犠牲の反省の下に作られた憲法を、自民党内だけでもまともならず、条文も未だに決まらず憲法を変えることだけを目的化していること。また国会でも十分な議論が為される保証は全くなく、「共謀罪法」で本来の手続をすっ飛ばして強行採決されたことは記憶に新しいこと。国民投票になれば、最低投票率の定めがないため極端な話、3人が投票して2人が賛成であれば決まっ

てしまうような手続きが、憲法という最高法規を変える手続として許されるのかといった問題提起がなされました。

だからこそ改憲の発議をさせないことが重要であり、そのための世論を作っていくことが大切であることが確認されました。参加者からは、時間が足りなくなりそうなくらい活発な発言が続きました。その発言からは、署名を集めていくために苦労している点や工夫している点なども具体的に出され、皆、同じ思いでやっているのだなど、ほっとしたり、励まされたりと思いを共有することができました。また、さまざまな方面で頑張っておられる方々の話を聞いて心強くもあり、共通の目標に向かって共同していくことの意義を強く感じ、私も“改憲NO！”の声をさらに大きく広げていく決意を新たにしました。

## 手塚たかひろ 議員日誌



3月24日 **川口真由美コンサート** Dサポーター（教育の自由をとりもどす会）主催。沖縄辺野古の座り込みを激励する彼女の映像をフェイスブックでよく拝見していたが、ライブに参加するのは初めて。運動を通じての出会いに感謝。川口さんは宇治で障がい者の施設の代表をしながら音楽活動を続け、辺野古にも月1回は行っておられるとのこと。彼女の歌と語りで権力の横暴は許さない、差別は許さないとの民主的感性、熱い思いがビンビンと伝わってきた。一人一人が「おかしいことはおかしい」とその人にできるやり方であきらめずに声を上げ続けること。その先には新たな出会い、つながりが生まれることを肌で感じた。

3月28日 **市議会本会議閉会** 指定管理者制度の拡大、民営化推進、市民生活を圧迫する一般会計予算案、国民健康保険特別会計予算案に反対討論をした。（詳細は「議会報告」を）

4月1日 **市民アクション発足集会** 会場一杯の100人を超える参加。安倍9条改憲を許さない一点での枚方での市民センターの発足。発言された多くの方から3000万署名の取り組みが報告された。署名用紙を持って地域で家庭訪問。戦争を経験した方からは「戦争は

絶対だめ」、若いお母さんから「子どもたちの未来のためにも戦争はイヤ」など、市民との対話が紹介された。森友公文書改ざん発覚以降、市民の声は明らかに変わり、署名への協力が増えたことが多くの方から報告された。安倍首相は許せないとの声広がっている。安倍首相を退陣に追い込み、9条改憲を阻止できる展望は拓けている。

4月5日 **山之上小学校入学式** 今年の新入生は83人。名古屋市の中学校での前川文科省前事務次官の公開授業への文部科学省の調査のように教育への権力の支配介入が強まっている。きらきらと輝く1年生の瞳。子どもたちの未来のために自由で個性を大事にする教育ができる環境をつくりたい。

3月22日 3月分議員報酬から217,400円を大阪法務局に供託。私は**政務活動費は一円も受け取っていません**

〒573-0027

枚方市大垣内町  
2丁目8-27  
シンエービル別館A

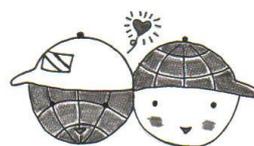
市民の広場ひこばえ  
TEL&FAX  
072-846-8780

### 平和で豊かな枚方を市民みんなでつくる会

共同代表 鈴木めぐみ（親と子のリズム遊び講師）  
奥村 秀二（弁護士）  
おおた幸世（枚方市平和無防備条例を実現する会）

事務局長 手塚 隆寛（枚方市議員）  
事務局次長 松田 久子（「すずらんの集い」代表）

メールアドレス：[hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp](mailto:hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp)  
ホームページ：<http://hiratkatasiminokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク  
塔本賢一さん作